

- 問1 19世紀のイギリスは、産業革命による生産力の向上を背景に、特定の地域との間で「三角貿易」と呼ばれる構造を築きました。イギリスがインドへ綿製品を輸出し、インドから清へアヘンを送り、清からイギリスへ茶を輸出するというこの仕組みにおいて、イギリスの主な目的として正しいものはどれですか。 (2024年 大分県公立入試 類似)
1. インドを工業化させることで、アジア全域の経済を活性化させること
 2. 清への茶の代金として流出していた銀を、アヘン貿易を通じて回収すること
 3. 清に対して、銀の代わりに綿織物を直接支払うルートを確立すること
 4. イギリス国内で不足していたインド産の絹織物を大量に確保すること
- 問2 江戸幕府の第8代将軍である徳川吉宗が、実学（生活や産業に役立つ学問）を奨励するために行った政策として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
1. キリスト教に関係のない漢訳洋書の輸入制限を緩和した。
 2. 朱子学以外の学問を幕府の学問所で教えることを禁止した。
 3. 長崎の出島におけるオランダ人との貿易を全面的に禁止した。
 4. 全国の藩校において、西洋の軍事技術のみを教えるよう命じた
- 問3 江戸時代の政治改革について述べた次の文のうち、田沼意次の政治の特徴と寛政の改革・天保の改革との違いを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
1. 田沼意次の政治が都市から農民を追放して農村に帰したのに対し、寛政の改革や天保の改革は都市への自由な移住を認めた。
 2. 田沼意次の政治が質素倹約と農業重視を徹底したのに対し、寛政の改革や天保の改革は長崎貿易の拡大を目指した。
 3. 寛政の改革や天保の改革が株仲間を積極的に奨励したのに対し、田沼意次の政治は株仲間を解散させて物価を下げようとした。
 4. 寛政の改革や天保の改革が農業や農村の復興を重視したのに対し、田沼意次の政治は商業の活力を利用して財政再建を目指した。
- 問4 田沼意次が行った政治の背景と、その時代的な位置づけについて説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 江戸幕府が開かれた直後の時期にあたり、朱印船貿易を推進してキリスト教を容認した。
 2. 徳川吉宗による享保の改革と、松平定信による寛政の改革の間の時期にあたり、商業を重視した。
 3. 寛政の改革や天保の改革の間の時期にあたり、鎖国を強化して外国船の打ち払いを進めた。
 4. 徳川家光による参勤交代の確立後、幕藩体制が最も安定した時期にあたり、農業の振興を第一とした。
- 問5 薩摩藩や肥前藩が行った藩政改革の記録によると、薩摩藩では砂糖、肥前藩では陶磁器（有田焼）や「ろう」の原料などを対象に、藩が独占的に販売することで支出を抑え収入を増やした成果がみられます。このような改革が行われた主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
1. 全国的な飢饉に備えて、米の備蓄を最優先にする体制を整えるため。
 2. 外国船の来航に備え、海岸線の警備や軍備を増強する資金を幕府に献上するため。
 3. 参勤交代や幕府への奉仕などで積み重なった借金を返済し、藩の財政を立て直すため。
 4. 農村から都市へ流出した農民を呼び戻し、荒廃した田畑を復興させるため。
- 問6 江戸幕府が「田畑の売買を禁止する」という内容の法令を出した目的として、最も適切な説明はどれか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. 百姓に武具を放棄させることで、一揆を未然に防ぐため
 2. 百姓が土地を失うことを防ぎ、幕府が安定的に年貢を徴収するため
 3. 土地の生産力を調査し、全国で統一した税制を確立するため
 4. 百姓に商業を奨励し、貨幣経済を農村まで浸透させるため
- 問7 江戸時代の中期以降、農村において農民が文字の読み書きや計算の能力を身につけることが実務上不可欠となった理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 滋賀県公立入試 類似)
1. 農業に関する書物を読んで新しい技術を学んだり、商人と農産物の取引を行ったりする機会が増えたため。
 2. 参勤交代の行列に加わる際に、各地の地理や関所の通過ルールを文書で確認する必要があったため。
 3. キリスト教の布教が許可されたことで、農民が自力で聖書を読んで教義を理解する必要が生じたため
 4. 幕府がすべての農民に対して、武士と同じ教育を受けることを法律によって厳格に義務付けたため。
- 問8 徳川家康が江戸に幕府を開いてから約260年間にわたり、将軍が直接支配する領地と、各地の大名が統治する「藩」が組み合わさって全国を支配する体制がとられました。この長期的な社会の安定の土台となった政治体制を何と呼びますか。 (2022年 福島県公立入試 類似)
1. 封建社会
 2. 幕藩体制
 3. 版籍奉還
 4. 守護地頭制
- 問9 江戸幕府の8代将軍徳川吉宗は、実用的な学問を奨励するためにある政策を行いました。この政策によって、キリスト教に関係のないものに限り輸入が許可されるようになったものは何ですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. 鎖国前に発行された朱印状
 2. キリスト教の聖書や布教に関する書物
 3. 砂糖や絹織物などのすべての貿易品
 4. 漢訳された洋書やヨーロッパの書物
- 問10 江戸時代前期の元禄文化が、それまでの時代の文化と比べて、どのような社会背景をもとに発展したか、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 奈良県公立入試 類似)
1. 応仁の乱のあとの混乱の中で、禅宗の影響を受けた簡素で深い味わいをもつ文化が武士に好まれたこと
 2. 遣唐使の廃止によって、日本の風土や日本人の感情に合った国風文化が貴族の間で発達したこと
 3. 参勤交代によって江戸に全国の富が集中し、江戸の庶民の間で皮肉や滑稽を好む文化が広まったこと
 4. 幕府の政治が安定し、農業や商業の発展によって上方（京都・大阪）の町人が経済力をつけたこと
- 問11 持続可能な社会の実現を目指す上で、「環境保全」「防災・安全」「資源・エネルギー」の各視点は互いに深く関連しています。このうち、資源やエネルギーの有効活用において、廃棄物を単なるゴミとして捨てるのではなく、再び資源として生産工程に取り入れることで環境負荷を減らそうとする社会を何と呼びますか。 (2025年 島根県公立入試 類似)
1. 循環型社会
 2. 高度経済成長社会
 3. 格差社会
 4. 情報化社会
- 問12 1830年代に発生し、東北地方を中心とした冷害や凶作をきっかけとして全国に広がった大規模な飢饉と、その社会への影響について正しく述べたものはどれか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
1. 天保の飢饉によって深刻な食糧不足が起こり、生活に困窮した人々による百姓一揆や打ちこわしが各地で頻発した。
 2. 享保の飢饉への対策として、徳川吉宗がサツマイモの栽培を全国に奨励し、飢饉からの救済を図った。
 3. 寛政の改革が行われたことで農業生産力が向上し、東北地方での大規模な農民の抗争は発生しなくなった。
 4. 天明の飢饉が発生した際、松平定信が江戸に流入した農民を強制的に帰村させる旧里帰農令を出した。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 清への茶の代金として流出していた銀を、アヘン貿易を通じて回収すること	当時、イギリスでは清から輸入する茶の代金として大量の銀が清に流出していました。この銀を取り戻すため、イギリスは植民地のインドで栽培させたアヘンを清へ密輸出させ、その代金として清から銀を回収し、その銀を再び茶の購入に充てるといった貿易構造を構築しました。イギリスからインドへの綿織物輸出は、この広大な貿易循環の一翼を担っていました。
問2	答え 1 キリスト教に関係のない漢訳洋書の輸入制限を緩和した。	徳川吉宗は享保の改革において、幕府の財政再建とともに産業の発展を目指しました。その一環として、天文や医療、農業といった実用的な知識を取り入れるため、それまで厳しく制限されていた漢訳洋書（西洋の書籍を中国語に翻訳したもの）のうち、キリスト教に関係のないものについては輸入を認め、学問の発展を促しました。
問3	答え 4 寛政の改革や天保の改革が農業や農村の復興を重視したのに対し、田沼意次の政治は商業の活力を利用して財政再建を目指した。	松平定信による寛政の改革や水野忠邦による天保の改革は、主に農業重視・農村復興や質素倹約を掲げた政策でした。一方、田沼意次の政治は株仲間の承認や長崎貿易の奨励など、商業の力を活用して幕府の財政を立て直そうとした点に大きな違いがあります。
問4	答え 2 徳川吉宗による享保の改革と、松平定信による寛政の改革の間の時期にあたり、商業を重視した。	田沼意次の政治は、8代將軍吉宗による「享保の改革」による緊縮財政のあとに、硬直した財政を立て直すために行われました。その後、田沼が失脚すると松平定信による「寛政の改革」が始まり、再び厳しい倹約や農村復興を重視する方針に戻りました。このように、二つの大きな改革の合間に位置する、商業資本を積極的に活用した異色な時期といえます。
問5	答え 3 参勤交代や幕府への奉仕などで積み重なった借金を返済し、藩の財政を立て直すため。	江戸時代の諸藩は、幕府からの軍役や参勤交代などの負担により、莫大な借金を抱えていました。米による年貢収入だけでは財政が回らなくなったため、砂糖や陶磁器といった換金性の高い特産品を専売制によって藩の収入源に替え、借金の返済や藩の財政再建を図りました。これが薩摩藩などの強大な経済力の背景となりました。
問6	答え 2 百姓が土地を失うことを防ぎ、幕府が安定的に年貢を徴収するため	江戸幕府の財政は、百姓から納められる米（年貢）に大きく依存していました。もし百姓が土地を手放して没落してしまえば、年貢を納める主体がいなくなり、幕府の収入が不安定になります。そのため、貧富の拡大を抑えて自作農を維持し、確実に税收を確保する仕組みを整える必要がありました。
問7	答え 1 農業に関する書物を読んで新しい技術を学んだり、商人と農産物の取引を行ったりする機会が増えたため。	江戸時代には農業技術の向上が進み、『農業全書』などの農業に関する専門的な書物が多く出版されました。農民がこれらの知識を吸収して生産力を高めるには、文字を「読む力」が重要となりました。また、商品作物の栽培が盛んになると、農民が商人との間で直接売買を行う機会が増えたため、商取引の契約内容を理解したり、正確に「計算する力」を身につけたりすることが、生活を守り向上させるために必要不可欠となりました。
問8	答え 2 幕藩体制	江戸幕府は、將軍の直轄領と各大名が支配する領地（藩）を組み合わせることで、中央集権と地方自治を両立させる仕組みを整えました。これを幕藩体制と呼び、武家諸法度による大名の統制や、参勤交代の義務化などを通じて、260年以上に及ぶ長期政権の基盤となりました。
問9	答え 4 漢訳された洋書やヨーロッパの書物	徳川吉宗は享保の改革において、農業や医学などの実用的な知識を取り入れることを重視しました。それまでの厳しい禁書政策を緩め、キリスト教に関係のない内容であれば、漢訳された洋書やヨーロッパの書物の輸入を許可しました。この方針転換が、のちに蘭学が日本で広く普及する重要なきっかけとなりました。
問10	答え 4 幕府の政治が安定し、農業や商業の発展によって上方（京都・大阪）の町人が経済力をつけたこと	元禄文化は、兵農分離や新田開発によって社会が安定し、物流の拠点である上方で経済活動が活発化したことを背景にしています。経済的な実力を持った町人が、武士の形式ばった文化ではなく、自分たちの感情や生活を肯定する華やかで躍動感のある文化を創り出しました。
問11	答え 1 循環型社会	環境保全や資源の安定確保を目的として、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進し、資源を効率的に循環させる社会を「循環型社会」と呼びます。現代では再生可能エネルギーの導入や防災対策と並び、この循環型社会の構築が、将来にわたって安心・安全に暮らせる社会を作るための不可欠な要素として位置づけられています。
問12	答え 1 天保の飢饉によって深刻な食糧不足が起こり、生活に困窮した人々による百姓一揆や打ちこわしが各地で頻発した。	1830年代の天保の飢饉は、長雨や冷害による全国的な凶作が原因で発生しました。これに伴う米価の高騰や食糧不足は、農村だけでなく都市部にも深刻な影響を及ぼし、生活の困窮に耐えかねた農民による百姓一揆や、都市部での打ちこわしが激増しました。この社会不安は、大塩平八郎の乱などの反乱を招き、江戸幕府の支配体制を揺るがす大きな要因となりました。